

私立大学図書館協会東地区部会

PB (Problem Based) 研修

担当 米澤 誠(IAAL), 高野真理子(IAAL)

内容と目標

各大学図書館で抱える問題や、より良いサービスに向けた課題を参加者（受講者）間で共有し、参考になる知見を集め、解決に向けたアイデアを出し合う機会を提供する課題解決型（Problem Based）の研修です。課題は参加者自身の問題意識や関心に合わせて設定します。パブリックサービス、テクニカルサービスどちらの課題でも構いません。例えば、図書館が行うイベントについて、電子資料（収集・整理・利用）について、オンラインレファレンスについて、機関リポジトリについて、著作権や ILL について、2022 総合的発見環境について...等々です。アドバイザーが課題解決をサポートします。

業務において、発展的な問題意識を持ち、他の大学図書館とのコミュニケーションを通して、自己解決力をつけることを目標とします。また、その成果を実務に活かし、大学図書館サービスの向上に寄与することを目的とします。

研修計画・開催方法

内容

参加者の課題意識・関心に応じて PBL(Problem Based Learning) のテーマを設定し、進捗に応じた各段階で、全体での発表と討議・情報交換を行い、研究を進めます。

開催

- 第1回 研修ガイダンス
- 第2回 テーマ発表会、レビュー
- 第3回 研究計画発表会、レビュー
- 第4回 進捗発表会(1)、レビュー
- 第5回 進捗発表会(2)、レビュー
(進捗発表会は必要に応じて回数を調整)
- 最終回 最終発表会、レビュー、まとめ

月1回, 平日午後 1:30-4:30 (途中休憩約 10分を挟む)

オンライン (Zoom) 開催

- ※ 受講の際にはインターネットに接続できる環境とブラウザが必要となります。